

PTA の思い出ばなし

山里 将之

みなさん、こんにちは！
貝塚聖書教会の山里将之です。

私たちの国、日本では、クリスチャンはまだまだ少数派。一般的に、キリスト教会全体に対しては好意的ではありながらも、自分自身が信徒になるかといえば、そこまでは至らない方々が大勢いらっしゃる中で、聖書を伝え、イエス様を証しする上で何か手がかりになるものはないか、と、手探りの日々。2022年の春から関わり始めた、中学校のPTA活動もそのひとつでした。



一年目の2022年度は、まずは副会長、二年目の2023年度、つまり今年度は会長。あちこちで祝辞や挨拶をする機会が増えました。実は、2022年度は、長女が入学した年。彼女は中学1年生。私はPTA1年生。「親子ともに成長」を地で行った二年間でした。なお、会長の働きは4月の入学式の祝辞と、その後に開かれる新役員への引き継ぎまで、なのですが、その後、クラブ後援会に入るんだとか。数えると、まるまる三年間、長女とともに過ごす事になりました。

公立の学校なので、宗教的中立性にはうんと気をつかい、今風に言えば「コンプラ」にあう努力を重ねながらの活動。でも、やっぱりお仕事について尋ねられる事は良くあって、私もどこまでお話しして良いのやら、探り探り、「実はキリスト教会の牧師で・・・」と打ち明けると、「牧師さん、初めて見ました！」と、いろいろな驚かれ方に出会う、そんな貴重（希少）な体験もまた良い思い出です。

先日の卒業式、巣立ちゆく生徒さんたちへの精一杯のエール、応援を込めて、とあるマンガの主人公のセリフにも触れながら、これから彼らが手にする「自由」の素晴らしさと、それにとまなう「責任」の重さ、厳しさと、その両方をメッセージに託し、祝辞と致しました。

³¹ イエスは、ご自分を信じたユダヤ人たちに言われた。

「あなたがたは、わたしのことばにとどまるなら、本当にわたしの弟子です。」

³² あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にします。」

ヨハネの福音書 8章 31-32節、聖書 新改訳 2017©2017 新日本聖書刊行会

彼らひとりひとりの「自由」が、「責任」ある、幸いなものとなることを心から願いつつ・・・